

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード		3-2-1		事業名	札幌市環境保全資金融資事業
担当		環境局環境事業部計画課 村崎、山田 211-2912			
全体計画（当初）					
事業内容	地球温暖化はじめ今日的な環境問題に対応可能な融資制度を実施する。制度の実施に当たっては利用者の利便性、制度の実効性等考慮し金融機関に補助した上で利用者の金利負担をゼロとする。 (融資対象) 市民～新エネルギー利用設備、浄化槽設備、低公害車 中小事業者～公害防止施設の設置等、工場用地等の取得等、新エネルギー利用設備、省エネルギー設備、特定フロン等の回収設備、化学物質排出抑制設備、土壌地下水の汚染防止設備、地下水節水等設備、低公害車			<年度別の事業内容> 毎年度、同内容である。	
事業内容 (量・場所・規模等)	平成16年度事業内容（決算）			平成17年度事業内容（決算）	
	札幌市環境保全資金融資要綱に基づき以下のとおり融資をあっせんした。 受付期間 9月15日～10月14日・11月15日～12月28日 事業者向け～1件(低公害車) 市民向け～5件(新エネルギー設備3件・低公害車2件) 決算額 5,189千円(現年度預託金3,107千円、過年度預託金2,008千円、利子補助金74千円) 参考 融資額ベース10,700千円			16年度対象設備に加え地中熱ヒートポンプ(事業者・市民)及び天然ガスコージェネレーション(市民)を融資対象とし、以下のとおり融資あっせんを行った。 受付期間 4月11日～7月29日・9月12日～12月28日 事業者向け～9件(低公害車8件・公害防止設備1件) 市民向け～5件(低公害車1件・新エネルギー設備4件) 参考 融資額ベース 64,600千円	
事業内容 (量・場所・規模等)	平成18年度事業内容（決算）			評価（成果）	
	17年度対象設備を一部変更し、以下のとおり融資あっせんを実施した。 ・対象設備変更点 事業者向け融資対象設備のうち「古年式ディーゼル車の新式への買い替え」を対象から外し、市民向け新エネ設備に太陽熱利用設備を融資対象に加える。 ・受付期間 4月12日～7月31日・9月12日～12月28日 ・パンフレット送付先 北洋銀行、北海道銀行、各区役所等合計1000部配布 また、受付開始にあたり、新聞社やウェブシティさっぽろ等からの多数の問い合わせがあった。 ・融資あっせん実績 市民向け～9件(低公害車1件、新エネルギー設備8件) 事業者向け～2件(低公害車2件) 参考 融資額ベース 21,866千円			新たな制度となってからの3年間で31件の融資のあっせんをした。 16年度 融資実績6件（融資額10,700千円/融資枠68,466千円＝枠に対する執行率15.6%） 17年度 融資実績14件（融資額64,600千円/融資枠103,000千円＝枠に対する執行率62.7%） 18年度 融資実績は11件で、融資枠に対する融資額の割合は約21.9%であった。(融資額21,866千円/融資枠100,000千円＝枠に対する執行率約21.9%)	
課題					
当制度は金利負担ゼロで太陽光発電設備や低公害車の導入ができるものである。利用者増には市民・事業者へのPR強化が不可欠である。 平成17年度 制度創設から二年目となり利用実績が向上したが、今後もより一層の周知に努めたい。 平成18年度 前年度に比べ融資あっせん件数は減少した。その主な原因は市民の認知不足であるため、今後より一層のPRを行う必要がある。					
19年度以降の方向性・事業の予定					
これまでの大気汚染などの公害に加え、深刻化するCO ₂ 等による地球温暖化等の地球環境問題へ効果的な対応が求められる。そのためにはこのような設備の普及が不可欠であり、経済支援により設備普及を促進する当事業は施策の推進に貢献するものである。 制度創設3年を顧みると市民・事業者等への当事業の認知不足が考えられるため、市民等へのPR方法等の検討が必要である。					

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

(単位:千円)

施策体系コード		3-2-1				事業名		札幌市環境保全資金融資事業				
事業費の推移												
項目			16年度		17年度		18年度		計		進捗率(%)	
計画	事業費		22,573		42,879		60,548		126,000		-	
	財源内訳	国・道支出金							0		-	
		市債							0		-	
		その他	20,938		39,782		56,532		117,252		-	
		一般財源	1,635		3,097		4,016		8,748		-	
実績	事業費		5,189		12,577		30,950		48,716		38.7	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0		-	
		市債	0		0		0		0		-	
		その他	5,115		11,922		29,210		46,247		-	
		一般財源	74		655		1,740		2,469		-	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)												
「16年度」予算化が不透明な状況であったため、制度制定が年度途中となり16年度は実質二ヶ月半の受付期間であった。また、こうしたことからPR期間も十分ではなかった。 「17年度」制度二年目ということで融資あっせん件数も14件と増加した(預託件数は9件)が、未だ周知が行き届いていないと考える。 「18年度」制度三年目になったが、昨年度に比べ融資あっせん件数が11件と減少した。本制度の周知に力を入れる必要があると思われる。												
主な施設、サービス等の整備水準												
項目			15年度末 (現状)		16年度末 (実績)		17年度末 (実績)		18年度末 (実績)		18年度末 (目標)	
関連予算事業内訳												
予算事業名(小事業名)							経・臨 臨時	枠内外 枠外	16年度	17年度	18年度	計
環境保全資金貸付金									5,189	12,577	30,950	48,716
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0
												0